



『でんきの安全と安心をおとどける』 (有)原田電工社

弊社では奇数月ごとに「ハラデン・フェスタ」という、イベントを行っていますが、7月は「でっかいシャボン玉を作ろう」と題して行いました。

テレビなどで人が中に入れるシャボン玉を作ってたのを見て、これをやってみようと軽く思っていました、とんでもなく難しい事に驚きました。



左のシャボン玉は直径30cmほどあります。

まず、シャボン液を作りますが、洗剤や石鹼を溶かせば良い！では左のシャボン玉は出来ません。せいぜい10cmが精いっぱいですね。

調べてみるとそれだけでは強さが足りないんだそうです。なるほど、、、。

では、強くするために何が必要か！と言うとPVA、界面活性剤、グリセリン、そしてキレイな水、この四つが不可欠なんだそうです。へ～！

グリセリンやキレイな水は用意できるけど、PVAや界面活性剤はどこに売ってるのと思いきや、PVAは洗濯のりに、界面活性剤は台所洗剤に配合されていて、それを使えばOKだとわかりました。

配合率は、洗剤1：洗濯のり5：精製水7：グリセリン0.4。これもポイントです。



あとは大きいシャボン玉を作るための道具と容器を準備。小さいシャボン玉を一度にたくさん出すには、紙をはがして骨だけにしたウチワ。

これは気持ち良いくらいにたくさん出来ます。たぶんですが、一度に100個くらいは飛びます。針金をねじって作った金魚すくいのポイの大きい型。そしてフラフープ。



いろいろ道具を手作りして、いざやってみると、大人も興奮します。

夢中になってしまいました。左のように人の入れるシャボン玉も子供

だけじゃなく、大人も入れるシャボン玉も見事に出来ましたし、長～く伸びたシャボン玉も出来ました。子供たちも大喜びしてくれて大満足です。



- 1・突発修理はすぐ対応する。
- 3・なぜ頼まれたかを考える。

- 2・仕事を選ばない。
- 4・仕事の目的の目的を知る。

やってみないと難しいことかどうかも分かりませんでした。楽しかったです。一番のポイントはシャボン液は作ってから数日寝かせてから使う事ですよ。

